

ブランクスレート・マキャヴェリの知性・欺瞞

——社会生物学による社会構築主義の否定と吸収——

奈良大学 尾上正人

1 本報告の目的

本報告は社会生物学の立場から、第1に、社会構築主義の方法上・認識論上の立場を「ブランクスレート説」の一分枝として扱い、否定する。しかし第2に、社会構築主義の問題意識とそれが生み出した「遺産」を積極的に社会生物学の中に吸収することを試みる。

2 社会学の伝統とブランクスレート

ランドル・コリンズとイアン・ハッキングがともに指摘するように、社会構築主義的な思考様式は新しいものではなく、シカゴ学派の調査研究の中に、とりわけトマス&ズナニエツキの「状況定義」概念にその原型を見ることができる (Collins 1988: 265-6; Hacking 1999=2006: 88)。しかし、社会構築主義は、さらに遡って草創期からの社会学の伝統、ブランクスレート (空白の石板) 的思考の伝統と強く結びつき、それを論理的・認識論的にいっそう純化したものと言えるだろう。ブランクスレート説は心理学・人類学等の周辺諸科学において否定的見解が支配的になっており (Pinker 2002=2004)、いよいよ社会学の番が回ってきているのではないか。

3 マキャヴェリの知性——言語偏重からの脱却

霊長類の集団・社会生活についての実地研究が進む中で、1980年代から「マキャヴェリの知性」という理論枠組が登場した (Burn and Whiten(eds) 1988=2004)。これは、霊長類社会における階層移動競争や食料・配偶者獲得行動において、マキャヴェリが『君主論』に描いたごとの権謀術数が展開されていることの発見、また脳 (特に大脳新皮質) の増大が自然環境からの淘汰圧よりも、群れが大きくなることによるコミュニケーション上の複雑性の増大によるものという仮説 (社会的知性仮説) などからなる。社会構築主義は、いわゆる言語論的転回の影響を受けて言語の役割を強調してきたが、マキャヴェリの知性説は、同種間コミュニケーションの中で現実の「構築」を行なう能力が人類出現以前の (言語を持たない) 霊長類の共通祖先にもあった可能性を示唆している。

4 欺瞞・自己欺瞞による現実の「構築」

「動物のあらゆるコミュニケーションには、そもそも最初からだますという要素が含まれている」 (Dawkins 1976=1991: 108)。これを敷衍したのが、ロバート・トリヴァーズの「欺瞞」さらに「自己欺瞞」論である (Trivers 2002)。彼はアフリカのヒヒどうしの激しい心理戦を観察するうち、「現実操作の込み入ったメカニズム」に思いを致した。社会構築主義が説いてきた、「世界をありのままに写しとるものではない」 (Gergen 1999=2004: 72) 認知戦略は、人間の言語操作を超えて生物の世界全般に拡張し得る。さらに自己欺瞞は、自分をも欺くことで他者をよりうまく欺けるという高度な欺瞞戦略である。トリヴァーズは人間社会における自己欺瞞の「集団の統一性を生み出し維持する役割」を強調しており、イデオロギーや言説を動物行動学的知見の中に包摂できる可能性がある。

Burn, Richard and Andrew Whiten(eds).(1988=2004) *Machiavellian Intelligence*, Oxford University Press.

藤田和生・山下博志・友永雅己監訳『マキャヴェリの知性と心の理論の進化論』ナカニシヤ出版

Collins, Randall.(1988) *Theoretical Sociology*, Harcourt Brace Jovanovich.

Dawkins, Richard. (1976=1991) *The Selfish Gene*, Oxford U.P. 日高敏隆他訳『利己的な遺伝子』紀伊國屋書店

Gergen, Kenneth. (1999) *An Invitation to Social Construction*, Sage. 東村知子訳『あなたへの社会構成主義』

ナカニシヤ出版

Hacking, Ian. (1999=2006) *The Social Construction to What?* Harvard University Press. 出口康夫・久米暁訳

『何が社会的に構成されるのか』岩波書店

Pinker, Steven.(2002=2004) *The Blank Slate: The Denial of Human Nature and Modern Intellectual Life*,

Viking Adult. 山下篤子訳『人間の本性を考える—心は空白の石板か』㊥㊦ NHK ブックス

Trivers, Robert. (2002) *Natural Selection and Social Theory*, Oxford University Press.